

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第488号(平成25年7月10日発行)

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 福山港の航路増深事業を国に要望
2. 石垣港の次期港湾改訂計画への取組進む
3. 港湾の避難対策に関するガイドライン検討委員会の第3回会合

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 福山港の航路増深事業を国に要望

国際バルク戦略港湾としての整備・育成が期待されている福山港の港湾計画一部変更が先ごろの港湾分科会です承された。大型船に対応した航路の水深 18mへの増深、ならびに水深 18m専用岸壁 3バースの増深・延長などが位置付けられた。これに伴い港湾管理者の広島県ではJFEスチールと連携し、直轄事業としての整備が予定されている航路の増深事業について、国に対して今夏の概算要求に平成 26 年度着工として盛り込むよう要望していく。同航路の増深によって発生する土量は約1000万立方mと試算しており、県では浚渫事業が具体化すれば出島地区の埋立など複数の土砂処分場を確保する方針。

【港湾空港タイムス】

2. 石垣港の次期港湾改訂計画への取組進む

石垣市港湾課は石垣港の次期港湾計画改訂に向けた取組を進めており、今年 8 月には最終となる第 4 回長期構想検討委員会(鬼頭平三委員長)を開催し、今後 10 年～15 年を目標とする計画内容を取りまとめる。改訂港湾計画は今年 11 月の港湾分科会への上程を予定している。これまでの検討では大型クルーズ船対応の第 2 旅客船バース、新港地区への新エネルギー関連施設の導入促進、新港地区と美崎町地区を結ぶ新たな臨港道路の整備などが上がっている。

【港湾空港タイムス】

3. 港湾の避難対策に関するガイドライン検討委員会の第3回会合

国土交通省港湾局は6月27日、「港湾の避難対策に関するガイドライン検討委員会(委員長:磯部雅彦高知工科大学副学長)」の第3回会合を開き、ガイドラインの骨子案を提示した。次回会合で素案をまとめ、8月後半に「港湾の避難対策に関するガイドライン(第1版)」を策定する方針。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：細貝 隆司 五洋建設(株)

部会員：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

徳田 英司 新日鐵住金(株)

堀江 良彰 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当：首藤、森谷、大矢、小高 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####